住宅の選択肢を拡大するリモートワーク

2-サード

住宅購入者と販売者の

Redfinの調査によると、リモートで永続的に作業する機会が与えられた場合は、別の都市またはエリアに移動するか、すでに移動していることを検討してください。

この調査は、2020年11月と12月に実施されたRedfinの委託調査に基づいており、過去12か月間に住宅を売買した、または米国の32の主要住宅で今後12か月間に住宅を売買する予定の1,400人以上が対象となっています。市場。

「パンデミックによる移転の終わりは見ていません。Redfinのチーフエコノミストであるダリルフェアウェザー氏はリリースの中で、常勤のリモートワーカーがオフィスの近くではなくライフスタイルの好みと手頃な価格で住む場所を決定できるため、今年は第2の移行の波があります。

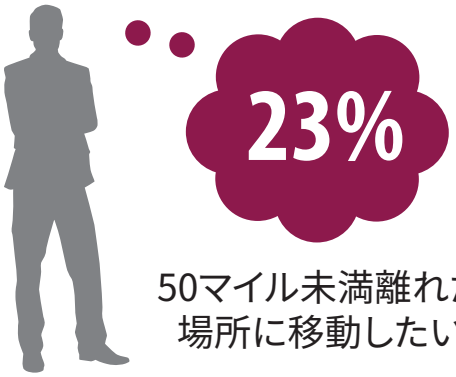
「より多くのお金のためのスペースを望んでいる住宅購入者が郊外や農村地域に移動し続けるにつれて、地方自治体はそれらを収容するためにより多くの家を建てることを許可する必要があります」とフェアウェザーは言いました。「遠隔地の労働者はニューヨークとサンフランシスコを離れ続けるでしょう。つまり、これらの場所の家はもう少し手頃な価格になる可能性があり、最終的には新しい居住者を引き付けたり、地元の賃貸人が住宅所有者になることができるようになる可能性があります。」

回答者の3分の1は、すでに別の都市または地域に移動しています。回答者の30%は、以前の家から50マイル以内に移動したと述べています。

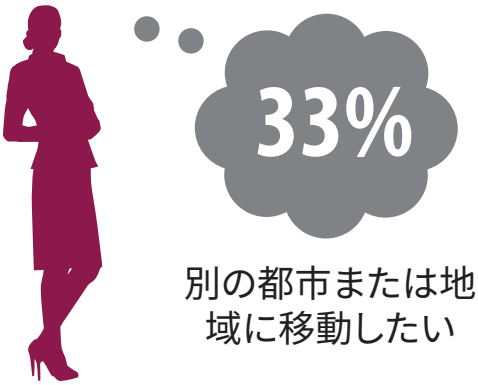
「ワクチンの発売に伴い、今年はオフィスに戻る人もいますが、さらに多くの労働者が遠隔地にとどまるでしょう」とフェアウェザー氏は述べています。「今年は、在宅勤務の計画が固まるにつれて、さらに多くの住宅購入者が町を離れることになると予想しています。」

パンデミックによる移転の第2の波があります

RedfinチーフエコノミストDarylFairweather



50マイル未満離れた場所に移動したい



別の都市または地域に移動したい

PROVIDENT TITLE COMPANY

Source: The Title Report https://bit.ly/30RpfdS